

# 競技注意事項

## 1 規則について

本競技会は2021年度日本陸上競技連盟規則並びに本競技会要項及び競技注意事項によって実施する。

## 2 競技者の事前準備

本競技会に参加する競技者は、事前に本競技注意事項の「10 新型コロナウイルス感染拡大防止にともなう注意」を確認し、下記の準備をしておくこと。

- (1) 東京陸協ホームページより、「体調管理チェックシート」をダウンロードし、記入をしておく。その際に、検温については、競技会出場当日を含む8日間の検温結果を必ず記入すること。
- (2) 東京陸協ホームページより、「保護者同意書」をダウンロードし、事前に保護者に記入してもらうこと。
- (3) 当日は、マスク、個人用シート、個人用タオル、ゴミ袋、筆記具を持参すること。

## 3 競技場の入場及び競技者受付と（TIC）について

- (1) 競技場への入場は、プログラム記載の会場図を参考に、係員の指示に従って行動すること。
- (2) 学校・団体受付をTIC（100mスタート後方の第4駐車場に設置する）にて、行う。代表者は、事前に記入した出場者の「体調管理チェックシート」及び「保護者同意書」を提出し、プログラム、リストバンドを受け取ること。
- (3) 開門時刻は、全日程とも8時00分とする。  
※開門前に来場した競技者及びその指導者・引率者は、ソーシャルディスタンスを保って開場を待つこと。
- (4) 競技者・指導者・引率者は入場の際に、手指消毒及び検温を行う。
- (5) プログラムに訂正箇所（氏名、フリガナ、学年、所属等）がある場合は、遅くとも出場する競技の90分前までに競技者インフォメーション（TIC）に申し出ること。なお、プログラムの記載事項は、申し込みの際に送信されたデータをそのまま使用している。
- (6) プログラムは、残部がある場合に限り、9時30分よりTICにて販売する。
- (7) 記録証は1部300円で発行する。希望者は1日目は16：00までに、2日目は14：30までにTICに申し出ること。

## 4 アスリートビブス（ナンバーカード）について

- (1) アスリートビブスおよび腰ナンバー標識、安全ピンは主催者が用意する。
- (2) アスリートビブスは配付されたままの大きさと、胸・背の四隅をしっかりと止めること。跳躍競技に出場する選手は胸・背のどちらか片方だけでもよい。
- (3) トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバー標識を競技者係で受け取り、ランニングパンツの右側上部、記載の数字が身体の真横の位置となるように注意して付けること。

## 5 ウォーミングアップについて

- (1) ウォーミングアップは競技場内で行うことができる。競技役員の指示に従い、指定された場所・時間の範囲内で行うこと。ただし、競技運営上、ウォーミングアップを制限することがある。ウォーミングアップ中は各々が事故防止に万全を期すこと。

- (2) 競技場内（競技区域内）に入場できるのは、ウォーミングアップの際についても本競技会に参加する競技者のみとし、指導者・引率者等の立ち入りは認めない。
- (3) 競技区域内での練習は、本競技会に参加する競技者に限定する。（競技区域内で練習する際は、競技者用リストバンドを身につけること）
- (4) 練習を競技区域内で行う際には、入退場は100mスタート側からのみ可とする。
- (5) トラック競技の練習は9時15分までトラック全周を使用してよい。但し、ハードルが設置されるレーンに注意すること。9時15分以後は競技役員の指示に従ってバックストレートで練習することができる。
- (6) ハードルの練習については以下の通りとする。

種別	設置レーン	場所	時間
共通男子 110mH	6～8レーン	メインストレート	8:20 ～ 9:15
共通女子 100mH	3～5レーン	メインストレート	8:20 ～ 9:15
	7・8レーン	バックストレート	9:10 ～ 10:10

- (7) フィールド競技の練習は競技開始前に各競技実施場所で競技役員の指示に従って行うこと。

## 6 招集について

- (1) 競技者招集は、競技日程に記載された開始・完了時刻の間に各競技場所にて行う。なお、招集完了時刻に遅れた者は、競技に参加しないものとして取り扱う。
- (2) トラック競技に出場する競技者は、100mスタート地点後方に設ける競技者係で腰ナンバー標識を受け取り、所定の位置に固定してから競技場所へ向かうこと。

## 7 競技について

- (1) 本競技場は全天候舗装のため、スパイクの長さは9mm以下（走高跳は12mm以下）とする。
- (2) トラック競技はタイムレース決勝で行う。トラック競技の走路順・フィールド競技の試技順はプログラムに示した順とする。
- (3) セパレートレーンを使用する競技では、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分のレーンを走ること。
- (4) 800mのスタートはオープンレーンで行う。
- (5) リレーのメンバー変更についてメンバーのうち少なくとも2人は、そのリレーチームに登録した競技者でなければならない。この要件を満たしている限りは、同一団体で他の種目にエントリーしている競技者を出場させることもできる（TR24.10）。複数チームをエントリーしている場合はチーム間でのメンバー移動を認めるが、同一の競技者が複数のチームで出場することはできない。
- (6) リレーにおける第1、第2、第3走者はテークオーバーゾーン内でバトンパス完了後も自分のレーンにとどまること。
- (7) リレーのスタート用マークは各チームで用意し、レース後責任もって外すこと。
- (8) 競技（練習）で使用する用器具は競技場備え付けのものに限る。但し、棒高跳用ポールは除く。
- (9) ハードルは次の規格で行う。

種目	スタート～第1ハードル	高さ	インターバル	台数	最終ハードル～フィニッシュ
男子 110mH	13.72m	0.914m	9.14m	10台	14.02m
女子 100mH	13.00m	0.762m	8.00m	10台	15.00m

(10) 投てき用器具の重量は次の通りとする。

区分	種目	重量	種目	重量
共通男子	砲丸投	5.000 k g	円盤投	1.500 k g
共通女子	砲丸投	2.721 k g	円盤投	1.000 k g

(11) 走高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

区分	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	競技
共通男子	1m25 1m45	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m63	以後最後の1人になるまで3cm刻み
共通女子	1m05 1m30	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m43	以後最後の1人になるまで3cm刻み

(12) 棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

共通男子	練習	1	2	3	4	5	6	7	以後最後の1人になるまで10cm刻み
	2m60・3m00 3m40・3m80	2m20	2m40	2m60	2m80	3m00	3m10	3m20	
共通女子	練習	1	2	3	4	5	6	7	以後最後の1人になるまで10cm刻み
	1m70・2m10 2m50・2m90	1m80	1m90	2m00	2m10	2m20	2m30	2m40	

(13) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、審判長が当日のグラウンドコンディションなどを考慮して変更することがある。

(14) グラウンド内は、原則として全て競技区域とする。従って、競技中の助言(指導)は、競技場内のスタンドからのみ行うことができる。グラウンド内からの競技中の助言(指導)は、審判長による警告(イエローカード)及び除外(レッドカード)の対象となる。

## 8 競技区域への入退場について

- (1) 競技区域への入退場はすべて競技役員の指示・誘導に従うこと。
- (2) 競技エリアからスタート地点または競技場所へ移動する際は、必ずマスクを着用すること。トラック競技・フィールド競技とも、競技エリアへの入退場は100mスタート地点側の出入口を使用すること。

## 9 抗議について

競技の結果または競技進行中に起きた競技者の行為に関する抗議を行う場合は、その種目の競技結果が放送により正式発表されてから30分以内にチームの公式な代表者がTICに申し出ること。

## 10 新型コロナウイルス感染拡大防止にともなう注意

(1) 競技者及び来場者に関して

- ① 来場にあたっては、3つの密(密閉、密集、密接)を避け、参加競技者及び引率者(引率顧問、クラブ代表、保護者引率の場合は競技者1名につき引率者1名。)のみで来場すること。
- ② 競技者及び引率者は競技会当日を含め8日間の検温を実施し、指定の「体調管理チェックシート」に記載し、「保護者同意書」と共に受付時に提出すること。チェックシート・同意書の提出と引き換えに競技者及び引率者は「リストバンド」を受け取ること。チェックシート・同意書を

提出しない競技者及び引率者については、原則として来場及び参加を認めない。

- ③ 入場口及び退場口は限定されており、入場の際には必ずリストバンドを提示すること。リストバンドを装着していない者は入場できない。
- ④ 競技者及び引率者は、場内のスタンドに学校・クラブの待機場所を設けることができるが、密にならないよう配慮すること。また、スタンド内での声を出しての応援を禁止とする。
- ⑤ 体調がよくない場合は、来場を見合わせる。
- ⑥ 以下の事項に該当する場合は、来場及び参加を認めない。
  - ・ 当日の体温が 37.5℃以上あり、強い倦怠感と息苦しさがある場合。  
(入場時、非接触での検温を実施する。当日検温で 37.5℃以上の場合は入場を認めない。37.0℃以上の場合は再検査を行う。)
  - ・ 同居家族や身近な知人が感染している、または感染が疑われる状態にある場合。
  - ・ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合。
  - ・ 大会開催日の 3 週間前の時点、もしくはそれ以降に PCR 検査もしくは抗原検査で陽性反応があった場合。
- ⑦ 競技会終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対し濃厚接触者の有無等について報告すること。

## (2) 来場及び競技の参加にあたって

- ① 来場にあたっては、マスク・マイタオルを持参し、運動時を除いては原則としてマスクを着用すること。
- ② 石けんを用いた手洗い・手指消毒、洗顔を励行する。
- ③ 声を出しての応援、集団での応援は行わない。
- ④ ウォーミングアップ・招集等については、競技役員の指示に従い、ソーシャルディスタンスを確保すること。
- ⑤ 競技用具使用後は手洗いまたは手指消毒を行うこと。
- ⑥ 飲食等の際は感染リスクが高くなるため、短時間・ソーシャルディスタンス・換気の良い場所で行うこと。
- ⑦ 飛沫拡散を防ぐため、応援や大声・近距離での会話を避けること。
- ⑧ タオル、ペットボトル、コップ、皿、袋等の共用を控え、個人用を用意すること。また、ゴミは各自で持ち帰ること。

## 1.1 その他

- (1) 2021 年度の日本陸上競技連盟競技規則修正点について、特に注意すること。
- (2) 競技者、競技役員及び大会総務から許可を受けた者以外の競技区域への立ち入りは、競技運営に支障をきたす恐れがあるため禁止する。
- (3) 申込み後の種目の変更は認めない。
- (4) スタンドでの盗難・置き引きには各自が十分に注意すること。主催者は一切の責任を負わない。
- (5) 傷害・紛失・その他の事故やトラブルについて、応急処置を除き主催者は一切の責任を負わない。
- (6) 開場時刻は 8 時 00 分とし、入場口は 100m スタート後方の門とする。
- (7) 各競技実施場所への入場は必ず競技者係の誘導に従うこと。
- (8) 場内におけるウォーミングアップは、すべて競技役員の指示に従うこと。

- (9) 本部前は通行禁止とする。また、セーフティコーン設置場所には立ち入らないこと。
- (10) 各自が出したゴミは必ず各自で持ち帰ること。
- (11) 競技場内の整備に努め、帰るときは自席周辺の清掃を行うこと。
- (12) 届けられた遺失物については、T I Cで保管する。保管期間は競技終了時までとする。
- (13) その他不明な点は競技者T I Cに問い合わせること。
- (14) 競技場へのアクセスは <http://www.kamiyugi-park.com/access.html> を参考にし、徒歩経路を守ること。団地内を通り抜けることを厳禁とする。
- (15) 競技場に隣接する林地はディスクゴルフ場であるため、ここにテントを設置することはできない。また、東屋を占有しないこと。

競技会コード	21	13	3301
競技場コード	132090		